



人・夢・あかえ



find us on facebook



あかえ寺小屋

五感で楽しむ「ジャズと茶の湯」

39名参加

令和2年11月7日(土) 会場: 宝泉寺本堂



演奏メンバーは宮崎ジャズ協会の香月保乃さん(ボーカル、ユーフォニアム)、黒木奈津季さん(ピアノ)、坂元陽太さん(ベース)の3人です。曲目はジャズのオールディーズからアニメソングそして宮崎民謡、日向木挽歌など参加者の馴染み深い曲目で盛り上がりました。演奏の合間には宮崎公立大学茶道部員による呈茶で和の雰囲気も楽しんでもらいました。

今年度はコロナ禍で開催が危ぶまれましたが、募集人員を減らし、感染予防を万全に行いました。アンケートではお寺とジャズとお茶のコンビは新鮮で満足できたなど参加者から大満足の感想をいただきました。

しゅもく

撞木のまち 赤江城ヶ崎を歩く

16名参加 令和2年11月28日(土)



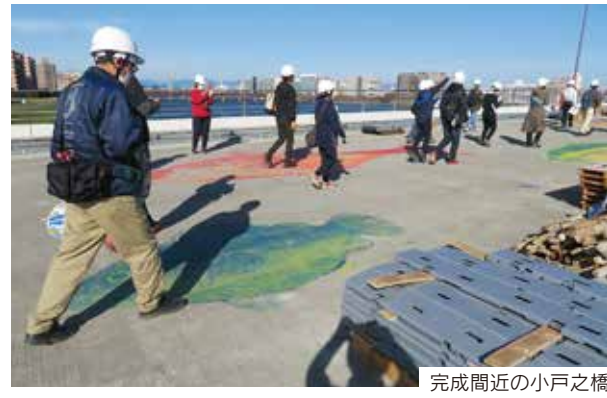
八坂神社



城ヶ崎門にあった「町石」



赤江古墳



完成間近の小戸之橋



城ヶ崎俳人墓碑

11月28日(土)に、恒久小学校からスタート、大淀川鉄橋や赤江橋跡から近年の城ヶ崎の歴史をたどり、完成間近の小戸之橋を橋の中央まで歩いて説明を聞きながら見学しました。八坂神社では、神社の歴史や城ヶ崎町の繁栄したところのお話を、忠平隆史さんたち総代会の方々から伺いました。江戸時代に赤江港が栄え、城ヶ崎の町が繁栄してくると、商売の神様である祇園様を祀り、商売繁盛を願い大切に守ってきました。宝泉寺山門の円立院作の仁王像や城ヶ崎俳人墓地、赤江古墳などを、井上康志さんの案内で見て歩きました。地域の皆様のご希望をお寄せいただき、令和3年度も有意義なまち歩きにいきましょう。



※撞木(しゅもく)とは…

丁字の形をした鐘を打ち鳴らす棒。古くは“鐘木”とも“撞”木とも書いた。

江戸時代の港・城ヶ崎は大きな商家が軒を連ね、華やかな街でした。城ヶ崎の町並みがカギナリになっていた事や商売で繁盛していたのでお金とかけて撞木(鐘木)のまちと言われるようになりました。

じょうさ節や夏越し唄には「赤江城ヶ崎は撞木のまちよ、鐘がなければ通られぬ」と唄われ、「金のないものはこの土地へは入れない」と明るくはやし立てています。

子育てサロン

9月・10月・12月開催 計54組参加

今年も恒久児童館・たんぼぼKIDSクラブ(地域内の子育てサークル)と共催で「子育てサロン」を行いました。コロナ禍の中、感染対策を徹底し、音楽会・運動会・ハロウィン・クリスマス・作品づくり等のイベントを行い、親子で楽しい時間を過ごしました。



熱気球から小戸之橋を眺めよう

11月28日(土) 52名参加



今年は小戸之橋ストリートフェスティバルがコロナ禍の影響で中止になったことから、熱気球体験搭乗の機会がなくなってしまいました。そこで、完成間近な小戸之橋を熱気球から眺めていただくこと、地域の小学生に参加を募集しました。3密を避けるため、メールによる事前申し込み制とし、受付時に検温、手の消毒、マスク着用を徹底しました。

風が比較的穏やかな早朝7時の開始時刻には、少しずつ親子が集まり、子どもたちが3人ずつ交代で搭乗しました。熱気球のバーナーで気球内の空気を温めると、たちまち約20mの高さに上昇。子どもたちはそこから小戸之橋や大淀川、赤江のまちの眺めを楽しんでいました。親子、スタッフみな笑顔で成功裏に終了しました。

(協力:宮崎大学気球部)



災害救助資機材等設置・備蓄品購入



あんぜん部会では災害支援活動の一環として地域内の小中学校へ備蓄品と資機材等を設置しています。今年は、消毒液・災害非常用タオル・LED懐中電灯を追加しました。「災害時に何が必要か」を考えながら、今後も追加していきます。

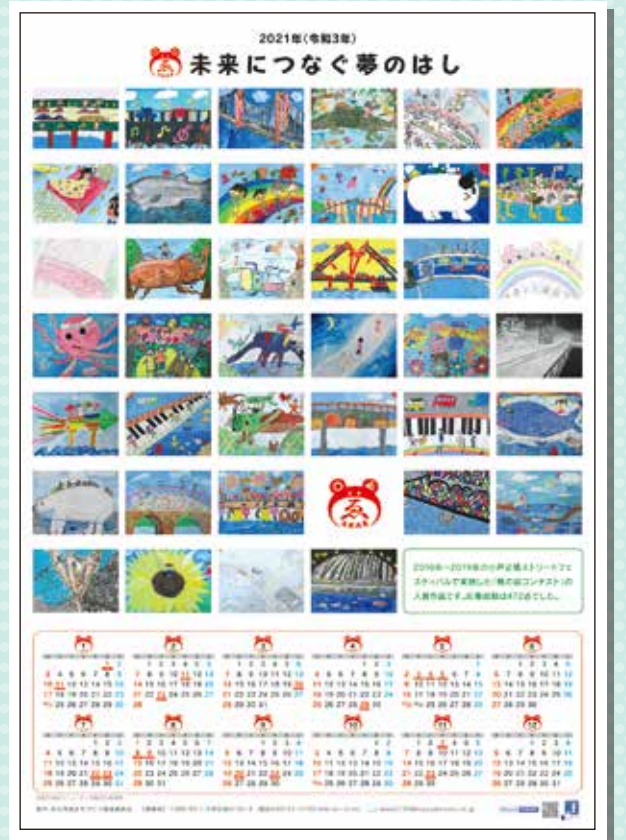


夢いっぱいのカレンダーをつくりました

2016～2019年の小戸之橋ストリートフェスティバルで実施した「橋の絵コンテスト」の入賞作品をカレンダーにしました。

どの作品も夢のあるものでしたので、「未来につなぐ夢の橋」というタイトルを付けました。

各自治会、学校、地域センター、公民館、交流センターや郵便局に配布しました。



残したい赤江の風景

城ヶ崎の八坂神社のそばを流れる鶴田川を西に上っていくと、小さな趣きのある鉄橋が見えてきます。橋梁には赤江避溢橋と書かれていました。避溢橋とは出水時に線路が妨げとなって洪水を防ぐ役目があるそうです。インターネットで戦前の古い地図を見てみると、かつてこの橋の下に細い川が流れていたことも分かりました。大淀川にかかる鉄橋が1915年に開通したのでこの橋も100年以上前に作られたのでしょう。橋梁に1973年のプレートが貼り付けてあるので、架け替えられて約50年経つんですね。コロナが収束したら、自由に電車に乗って旅をしたいです。



赤江避溢橋(あかえひいつばし)

広報部会 日吉 健二

赤江地域まちづくり推進委員会 新メンバー紹介



新会員紹介

- 文化部会 日高ひとみさん
- 広報部会 黒木瑠奈さん

新事務局員紹介

- 山根義人さん
私は「吾以外皆吾師」を信条としてきました。これからもどうぞよろしくお願いいたします。
- 中尾国孝さん
事務局員の一人として微力ではありますが、精一杯赤江まちづくりの仕事に励んで参りたいと存じます。よろしくお願いいたします。
- 福重麻衣子さん
よろしくお願いいたします。

赤江地域まちづくり推進委員会事務局

〒880-0911 大字田吉5730-3
電話(FAX) 51-5122(平日9:00~16:00)
✉ akae5730@miyazaki-catv.ne.jp



自治会に加入しましょう